２．金融商品の時価等に関する事項

令和８年３月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。

（単位：百万円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
⑴　貸付金（※１）	22,564,078	19,683,342	△　2,880,735
⑵　有価証券			
満期保有目的のもの	255,000	255,000	—
⑶　現金預け金	859,086	859,086	—
⑷　金融商品等差入担保金	—	—	—
資産計	23,678,164	20,797,429	△　2,880,735
⑴　債券	18,315,800	16,376,451	△　1,939,349
⑵　借入金	521,800	508,274	△　13,525
⑶　金融商品等受入担保金	456,380	456,380	—
負債計	19,293,980	17,341,105	△　1,952,875
デリバティブ取引（※２）			
ヘッジ会計が適用されているもの	237	237	—
デリバティブ取引計	237	237	—

（※１）貸付金に係る債権の譲渡を行ったことはなく、今後も行う予定はございません。

（※２）デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については△で示しております。

（注１）有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

⑴　有価証券

保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については「【有価証券に関する注記】」に記載しております。

⑵　デリバティブ取引（ヘッジ会計が適用されているもの）

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引について、ヘッジ会計の方法ごとの決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額等は、次のとおりです。

（単位：百万円）

ヘッジ会計の方法	デリバティブ取引の種類等	主なヘッジ対象	契約額等	うち１年超	時価	当該時価の算定方法
原則的処理	金利スワップ取引 支払変動・受取固定	債券 長期借入金	—	—	—	※１
金利スワップの特例処理	金利スワップ取引 支払固定・受取変動	債券	20,000	20,000	※２	
通貨スワップの振当処理	通貨スワップ取引	外貨建債券	1,935,017	1,621,301	※３	※３
			79,576	79,576	237	※４
為替予約等の振当処理	為替予約	外貨預金	—	—	※３	
合計			2,034,593	1,720,877	237	

※１　原則的処理による金利スワップの時価は、金利等の観察可能なインプットを用いて割引現在価値法により算定しております。

※２　金利スワップの特例処理によるものは、ヘッジ対象である債券と一体として処理されているため、その時価は、当該債券の時価に含めて記載しております。

※３　通貨スワップ及び為替予約の振当処理によるものは、ヘッジ対象である外貨建債券及び外貨預金と一体として処理されているため、その時価は、当該債券等の時価に含めて記載しております。

※４　将来の債券発行をヘッジ対象とする場合には、当該予定取引が実行されるまで、決算日において通貨スワップを時価評価したことによる評価差額を繰延ヘッジ損益として計上して繰り延べております。当該通貨スワップの時価は、為替等の観察可能なインプットを用いて割引現在価値法により算定しております。

（注２）金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：百万円）

	１年以内	１年超２年以内	２年超３年以内	３年超４年以内	４年超５年以内
貸付金	1,770,860	1,742,254	1,699,287	1,646,696	1,551,588
有価証券					
満期保有目的のもの	255,000	—	—	—	—
預け金	859,086	—	—	—	—

	５年超10年以内	10年超20年以内	20年超30年以内	30年超40年以内
貸付金	6,082,463	6,328,677	1,669,774	72,475
有価証券				
満期保有目的のもの	—	—	—	—
預け金	—	—	—	—